

まちの ニュース

市民みんなで音楽を楽しむはじめての祭典

第1回八幡平市音楽祭(同実行委員会主催)は10月5日、西根地区体育館で行われました。

開会式で田村正彦市長は、「市は、農業と観光だけでなく、音楽も盛んです。地域に根ざした音楽がますます盛んになり、子どもたちが健やかに育つことを期待します」とあいさつしました。

合唱の部は、市外から招待



西根中吹奏楽部の演奏で会場は大いに盛り上がりました



不来方高音楽部の美しい合唱で開幕

した、全日本合唱コンクール全国大会高校部門で金賞などに輝く不来方高校音楽部の合唱で幕開けです。市内の西根中学校音楽部、西根むらさきコーラス、コーラス白樺、コーラスななしぐれが出演。「花」「真つ赤な太陽」など、おなじみの曲を中心に、伸びやかなハーモニーを会場いっぱいに響かせました。

器楽の部では、岩手大学マンドリンクラブの演奏でスタート。大更小学校、平館高校、西根中学校の吹奏楽部が、コンクールの課題曲や映画のテーマソングなどを披露し、会場を大いに沸かせました。来場者は、市民や招待団体による素晴らしい音楽を心行くまで楽しみました。



↑ 往時の旧松尾鉱山を知る菅原さんの特別講演

◀ 旧松尾鉱山の活用と地域の活性化について活発な議論を交わす産業考古学会の会員の皆さん

産業考古学会の2008年度全国大会は10月5日、田頭公民館で開催されました。

全国から学会の会員48人と一般参加者80人が参加。一般講演では、会員の調査・研究発表が6件、特別講演では「東洋一と呼ばれた松尾鉱山」と題して元松尾鉱山従業員の菅原一兄さん(柏台)が、雲上の楽園と呼ばれた当時の鉱山の様子やその周辺に暮らす人たちの生活の様子について講演しました。

講演に続いて行われたデイスカッションでは、市の地域活性化に産業遺産をどう生かすかについて議論されました。参加した会員からは、鉱山に関する膨大な数の資料の整理や保存、松尾歴史民俗資料館の活用、同じように産業遺産がある地域との交流など、多くの意見が出されました。

産業考古学会で旧松尾鉱山の活用法を議論

台湾企業が市内に羽毛原料製造工場を立地

光隆ジャパン有限会社(蘇彰仁社長・大阪市)の工場立地調印式は10月7日、市役所で行われました。

同社は、光隆實業股份有限公司(台北市)の日本法人。羽毛寝具原料の加工などを手がけます。蘇社長は、「大阪に続く日本の第二拠点として、皆さんと協力していきたい」と意欲を高めていました。

工場は12月からの操業予定で、10人程度の地元雇用が見込まれています。

光隆ジャパン有限会社・八幡平市 工場立地協定書調印式



蘇社長(写真左)と固い握手を交わす田村正彦市長

ふるさとの森再生を願いみんなで苗木作り



指導を受けながら苗木作りをする平館小の児童

NPO法人森びとプロジェクト委員会みちのく事務所は10月19日、県民の森で第4回ふるさとの森づくりを行いました。

県内外から約170人が参加。松尾鉦山跡地の森林再生を目指して、平館小学校の児童や関係者などが集めたミズナラやトチの実で約8千本の苗木を作りました。

参加者は、自然が回復するよう願いを込めながら、丁寧に苗木を作りました。

りんどう杯八幡平グラウンド・ゴルフ大会は10月6、7の両日、市松尾総合運動公園と八幡平リゾートを会場に行われました。

市内外から138人の愛好者が参加。2日間に40ホールをプレーした合計打数で順位を競いました。初日はあいにくの雨模様でしたが、二日目はさわやかな秋空が広がります。参加者は、愛好家同士の交流を深めながら、はつらつとプレーしていました。

第1回りりんどう杯で愛好者の親ばく深める



真剣な表情でクラブを振るう参加者



難しいスキー理論をわかりやすく説明する木村さん

スポーツ講演会は10月18日、冬季五輪やスキーワールドカップなどで活躍したアルペンスキーヤー木村公宣さんを講師に迎え、安代小学校体育館で行われました。

市内外から100人が参加。第1部では、「スキーが私に教えてくれたもの」と題して、子どもころの自分や、世界で戦ってきた経験などを講演し、第2部では、木村流のスキー理論をわかりやすく参加者に講義しました。

アスリートから学ぶスポーツの素晴らしさ

平館高校創立60周年を祝う記念式典を開催

平館高校(受川彰校長、生徒329人)で10月17日、創立60周年記念式典が行われました。生徒による岩手山山伏神楽で幕を開けた式典で受川校長は「歴史を振り返り、地域に支えられて発展してきたことを心にしつかりと刻み、校訓の開拓者精神でしっかりと自分の人生を歩んで欲しい」とあいさつ。式典に続き、同校の卒業生で、テレビなど活躍する千葉星子さんによる講演会が行われました。



「一期一会」と題して講演を行った千葉星子さん

事例などから協働のまちづくりの鍵を学ぶ

協働のまちづくり講演会は10月20日、市民など118人が参加して西根地区市民センターで開かれました。

岩手県立大学連携支援アドバイザーの南幅直美さんを講師に招き、「今まちづくりに求められる想い、地域の魅力と人の魅力を引き出す」と題して講演しました。まちづくりを円滑に進める秘訣などを県内の事例を挙げて紹介。参加者は、協働のまちづくりに理解を深めていました。



参加者は、講師の話に真剣に耳を傾けていました

安代小学校(高橋ひさ子校長、児童160人)で9月30日、花咲く安代ミニ・オペラコンサートが開かれ、児童や地域の住民がプロ声楽家の歌声を楽しみました。



県民オペラにも出演したプロの歌声を楽しみました

プロが響かせる本物のハーモニーに大感動

テノール歌手の及川尚志さん、ソプラノ歌手の谷藤ひろ美さん、ピアノリストの小笠原史さんが「オーソレミオ」など7曲を披露しました。コンサートに引き続き、3・4年生が合唱指導を受け、元気いっぱいに歌声を響かせました。

県職員から設計の説明を受ける関係者



国道282号西根バイパス第2期工区(4.7km)の説明会は9月30日、西根地区市民センターで行われました。

この説明会は、昨年12月に開通した第1期工区に接続する南側約1kmの詳細設計が完成したことを受けて開催したものです。盛岡地方振興局土木部岩手出張所の職員が、関係者へ設計内容を説明。関係者から聞いた意見をもとに取り付け道路の位置など、設計を修正します。

西根バイパス第2期工区の設計に意見聞く

地域住民の絆を深める運動会が開催される

安代地区の浅沢と田山の運動会は10月12日、浅沢地区民運動会は旧浅沢小学校校庭、田山ふれあい運動会は田山グラウンドでそれぞれ行われました。

さわやかな秋晴れの下、子どもからお年寄りまで、幅広く

い年代の市民が参加。年代ごとの種目や、男女混合の団体種目など、それぞれに特色のあるプログラムで熱戦を繰り広げました。

参加者は、地域の交流と連帯を深めながら、心地良い汗を流していました。



↑障害物競走とパン食い競争を組み合わせた種目「浅沢の山を駆け抜けて」

→日ごろの地域の団結の強さが勝利への鍵となる「ムカデリレー」(田山ふれあい運動会)



地域の誇り・小林潤志郎選手に協力金贈呈



小林選手(写真中央)を囲んで記念撮影

小林選手は、10月上旬からナショナルチームの海外合宿に参加し、今季に向けて本格始動しています。

援に応えられるようにがんばります」と力強く抱負を述べました。

ソチ五輪出場の実に近づきつつあります。柏台の住民として、皆さんの応援に

松尾地区の柏台自治会(高橋良二会長)の「世界に羽ばたけ郷土の誇り・小林潤志郎選手を励ます運動」協力金贈呈式は9月27日、柏台地区センターで行われました。

この運動は、同地域在住でノルディックスキー複合競技で活躍する小林潤志郎選手(盛岡中央高2年)を地域全体で応援しようというもので、バンクーバー冬季五輪が開かれる平成22年まで続ける予定です。

贈呈式で高橋会長は、「小林選手の昨シーズンの活躍に

は、大変感動しました。体に気をつけて、怪我のないようトレーニングに励んでください」とあいさつし、地区内から募った協力金9万2千円を小林選手に手渡ししました。小林選手は、「今季から、ナショナルチームの一員となり、バンクーバー、ソチ五輪出場の夢に近づ



高橋会長(写真右)から小林選手へ協力金を贈呈